

平成 30 年 9 月 5 日

S S H 指定高等学校長 様
関係の皆様

新潟県立高田高等学校
校長 小野島 恵次

平成 30 年度北信越 S S H 指導力向上研修会について（第一次案内）

初秋の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、本校は平成 25 年度より文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール（S S H）研究開発校」として指定を受け、今年度より 2 期目を迎えました。現在は、課題研究、探究型の学習を深化させる教育課程・指導方法の開発、高度な表現力と国際性を育成する指導法の開発等に関する研究を進めております。

この度、理数科第 2 学年の「課題研究」中間発表会を他 S S H 校生徒と合同で行うのと合わせて、課題研究等の指導についての教員向けの研修会を別紙のとおり企画いたしました。つきましては、御多用のところ誠に恐縮ですが、是非とも御出席いただきたく御案内申し上げます。

なお、内容の詳細につきましては、10 月初めに改めてご案内させていただきます。

担当

S S H 部 教諭 平田威也

電話 025-526-2317（1 学年）

FAX 025-523-0825

Email hirata.takeya@nein.ed.jp

平成30年度北信越SSH指導力向上研修会について（第一次案内）

1 研修の目的

新潟県では、管理期間のリーダーシップの下、SSH指定校が学校間の連携を進めていくことで生徒が効果的に課題研究を進める実践に取り組んでいる。その実践を報告し、北信越地域を中心としたSSH校の教員の指導力向上に寄与する。また、県内外のSSH校との交流の促進を図る。

2 研修内容

(1) 生徒研究発表会・生徒交流会

ア 課題研究中間発表会（午前）

県内SSH校と合同で、課題研究について生徒による中間発表会を行う。研究テーマを分野別にグループ化し、各々が研究計画、研究進捗状況、今後の展望を、ポスター発表する。各分野の専門である大学教授などを助言者として招聘し、研修に参加する教員と合わせて、生徒の研究に対して指導助言を行う。生徒たちは発表や質疑応答をもとにして今後の研究計画を検討する。

イ リフレクション及び生徒実験交流会（午後）

中間発表した課題研究について反省会（リフレクション）を生徒同士で行い、課題研究の改善を図る。その後、実験技能と協働性の向上を目的に、講師指導の下他校の生徒との混合グループで実験を行う。（霧箱の製作と放射線観察を予定）

(2) 教員研修会（午後）

ア 講演会：課題研究の学校間連携の重要性について

教員研修を行うに当たり、研修の意義やねらいなどを、課題研究の指導に造詣の深い講師から話していただく。

イ 実践報告

①新潟県内SSH校の連携について

管理機関のリーダーシップの下、新潟県内のSSH指定校がどのように連携を図り、効果的に課題研究の指導を進めているのか、その成果と課題を新潟県教育庁高等学校教育課から報告してもらう。

②高田高校の取組

高田高校教員が、高田高校が行っている他校との連携について実践報告を行う。

③SSH以外の高校との連携

県外SSH校の教員から、探究型の学習に関して、他の学校と連携した取組について、実践報告をしてもらう。

(3) 情報交換会

研修参加者をいくつかのグループに分け、課題研究の指導や他校との連携に関するテーマについて、班ごとに分かれて討論する。話し合いの内容を共有するために、全体の前で内容

を報告する。

3. 期待する成果

(1) 課題研究や探究的な学習を効果的に進めていくための他校との連携について理解を深め、優れた事例を今後の指導に取り入れることができる。

(2) 多くの専門家からの助言と教員間の情報交換から得た課題研究の指導方法を、生徒の研究活動の指導にフィードバックすることによって、課題研究の質を向上させることができる。

(3) 研修を通じ、県内外のSSH校教員が連携するネットワークを構築することができる。

5 実施日および会場

(1) 日 時：平成30年12月27日（木） 10時45分～16時00分

(2) 会 場：新潟県立高田高等学校 大規模視聴覚室 新潟県上越市南城町3丁目5-5

6 担当および問い合わせ

新潟県立高田高等学校 SSH部 部長 平田威也（教諭）

TEL 025-526-2317 / FAX 025-523-0825

E-mail: hirata.takeya@nein.ed.jp